

工高生による木造住宅の簡易耐震診断

～彦根市河原町～滋賀県立彦根工業高校

専門の学習(建築構造設計や建築製図)を活かして
初期的耐震診断のボランティア活動を行います。

学習の深化を図るとともに、
市民の防災意識向上に少しでも役立つ活動を行います。

はじめに

平成17年度、滋賀県立大学環境科学部環境計画学科に留学し柴田いづみ教授に師事していた折、同教授から高校生による簡易耐震診断ができないかとの打診を受けました。そこで既に数年前から木造住宅の簡易耐震診断に取り組んでいる千葉県立市川工業高校の活動報告を調べたり、所属先の校長や建築科職員と会合を重ね検討しました。多くの教育課題を抱える中で新しい試みを行うことに不安はありましたが、生徒への教育効果はもちろんのこと、地域の社会貢献に役立つ重要な活動であり、平成18年度から科目「課題研究」の中で取り組むことにしました。



目 的

専門の学習(建築構造設計や建築製図)を活かして初期的耐震診断のボランティア活動を行い学習の深化を図るとともに、市民の防災意識向上に少しでも役立つ活動を行います。

期待される成果

- ・コミュニケーション方法を学ぶ 町内会・自治会などの地域と交流する
- ・専門知識を学ぶ 彦根工業高校生・県立大学生が簡易耐震診断
- ・専門性を学ぶ 滋賀県建築士会彦根支部が一般耐震診断
- ・社会の要請を学ぶ 耐震性の向上を図るための耐震改修
- ・命の大切さを学ぶ 瞬時に人命を損なわないまちづくり

地域への波及効果

- ・地域の耐震意識の向上
- ・防災を通してコミュニティの活性化
- ・自主防災組織の誕生

対象地域

彦根市河原町

中心市街地南側の商業・住宅地

延焼要注意街区に指定
(滋賀県密集住宅市街地広域調査)

琵琶湖西岸断層帯、最大M7.8
(文部科学省地震調査委員会)

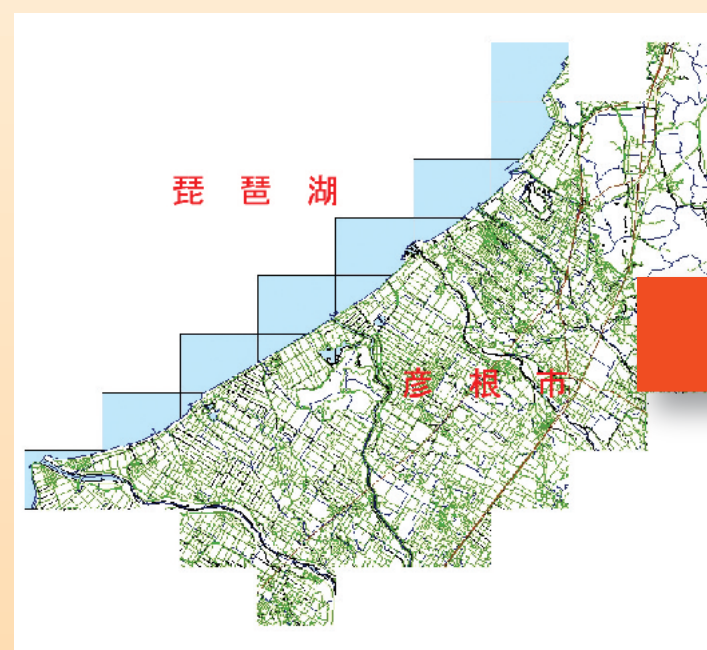


河原町の様子

彦根市河原町は、国宝彦根城の南東部、緑豊かなけやき並木の芹川堤にほど近く、「彦根銀座街」「登り町グリーン通り」「橋本商店街」「花しょうぶ通り」と市民に近で親しみのある商店街がひろがっています。

「花しょうぶ通り商店街」は近年通りの景観を江戸・明治期の町家風に装いを改め、伝統を生かした庶民的な雰囲気醸し出しています。また後背には通称「袋町」の名前で親しまれる歓楽街がひろがり、1丁目から3丁目を合わせ約300世帯、800人が居住し、江戸時代からの建物も残り戦前の色町としての風情も残っています。しかし、スナック等の水商売を営む店も多く、道路は狭く火災が発生しても消防車が入ることができません。

火災や地震などの災害時には役員が通りを大きな声で知らせたり、独居老人も多いことから、携帯電話で安否を確認するシステムが確立しています。自治会活動が活発で商店街には活気が溢れています。平成17年11月には古民家を改装した「街の駅」寺子屋・カ石がオープンし地域の活動拠点になっています。



彦根市河原町

都市再生

「防災・耐震・まちづくりフォーラム」実行委員会

- ・京都大学経済研究所丸谷研究室
- ・滋賀県立大学環境科学部柴田研究室

簡易耐震診断

- ・滋賀県立彦根工業高校 建築科
- ・滋賀県立大学環境科学部 環境・建築デザイン専攻

協力団体

- ・滋賀県土木交通部住宅課
- ・彦根市役所関係各課
- ・滋賀県建築士会彦根支部
- ・彦根商工会議所
- ・彦根市花しょうぶ通り商店街
- ・彦根市河原町自治会

対 象 生 徒

- ・建築科 3年生 授業(課題研究)で耐震調査班(8人)を設け、また県立大学環境科学部環境計画学科柴田いづみ研究室との高大連携で実施しています。